

合理的配慮提供項目

大分県立情報科学高等学校

提供場面	状況	選択	提供項目 例
授業前	導入		授業道具の出し入れの指示
			当日の授業の流れの視覚的提示(板書等)
	教材		コピーによる拡大化
			読み上げソフトの使用許可
			PDFデータの事前配布(情報端末使用)
	説明理解		視覚的・動作的説明の言語化
			視覚を利用した説明(OHP・プレゼンソフト等)
			具体的表現・説明
	記録		点字板の使用許可
			授業の録音許可
			パソコンによる記録の許可
			板書の撮影許可
	作業		作業手順の視覚化
			コミュニケーションツールの使用許可
		十分な作業時間の確保	
		計算機の使用許可(数学の授業時も含む)	
応答表出		電子辞書又はパソコンの使用許可	
		得意な方法での応答許可(口頭、筆記等)	
教室環境		得意な方法での応答許可(口頭、筆記等)	
		座席位置の指定	
		車いす用の机の使用	
		通路幅の確保(教室内)	
授業実施	学習保障		低階層での教室での授業実施
	授業選択機会		遮光カーテンの使用
授業後			授業代替の課題の提示
			体育の授業配慮
試験時	方法		語学(外国語)の授業配慮
	形態		次回・次週の予定の伝達(文書等)
学校生活全般	生活援助		宿題・課題量の調整(長期休業中も含む)
	差別回避		注意事項・変更点等の伝達の調整・変更(文書・口頭等)
	進路指導		試験時間の延長
	経済的援助機会の提供		別室受験